

研修コース名	(和文) 天水稲栽培・種子生産及び品種選定技術 (英文) Rainfed Rice Cultivation, Seed Production and Variety Selection Techniques
研修期間	2024年3月11日～2024年11月26日
使用言語	英語
参加国(今季)	ウガンダ、ガーナ、ギニア、ザンビア、シエラレオネ、タンザニア、マラウイから8名参加
案件目標	日本で学んだ稲の栽培技術、種子生産技術、及び品種選定技術を用い、自国の天水稲作に関する課題への対策を検討できる。
研修概要	研修員は、自国の天水による稲栽培・種子生産・品種選定技術に関する現状と課題を把握したうえで、稲栽培の基本技術、稲の種子生産・種子保存、品種選定に関する基本技術を習得します。かんがい施設が未整備な地域が多いアフリカ諸国では、乾燥に強く、良食味品種を選抜して普及することも期待されています。
SDGs等への貢献	◎SDGs ゴール2 飢餓・食料安全保障・栄養・農業のうちでも特に「飢餓をなくす」や「生産量を増やす」といった目標に貢献します。 ◎「アフリカ稲作振興のための共同体 (“Coalition for African Rice Development : CARD”)」で掲げた目標 2018年までにアフリカのコメ生産量倍増(1400万トン→2800万トン)の達成にも貢献し、更に2019-2030で倍増(2800万トン→5600万トン)する目標に向けて取り組んでいきます。



原原種・純系系統種子生産実習



幼穂形成の調査実習



光合成測定実習



葉面積の調査実習